ESOTERIC

X-05

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。
コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない。
電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない。
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

分解禁止

この機器のカバーは絶対に外さない。

カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。

強制

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。

ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。

また、接続は指定のコードを使用する。

電源を入れる前には音量を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器は17.2kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。

異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全にお使いいただくために

注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ディスクの挿入口に手を入れない。
特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

ESOTERIC

目　次

＊：i.LINK端子に関係する機能は、将来X-05を有償バージョンアップしてi.LINK端子を増設すると使えるようになります。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源コード×1
リモコン(RC-1156)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。

- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSEボタン(⏏)を押してディスクトレーを開けないでください。強い力でディスクトレーの動きが妨げられると、故障の原因になります。

- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

- 安定した場所に設置してください。

- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

- 床を傷付けたくない場合は、脚の裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

外部接続した機器で録音する時の注意

ディスクによってはコピー禁止信号の入っているものがあります。コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。
(音声をアナログで録音することは可能です)

ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。
この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。

- コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクやDualDiscは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

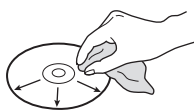
ディスクの取り扱い

● ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。

● ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方

ディスクの持ち方

● 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクの汚れは画質・音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。

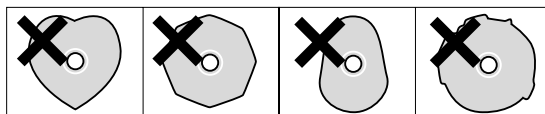
● レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

● 再生が終ったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

● ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

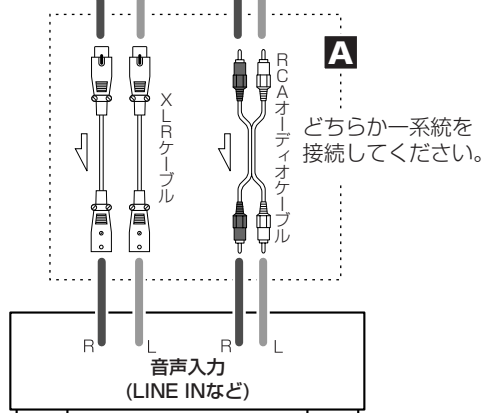
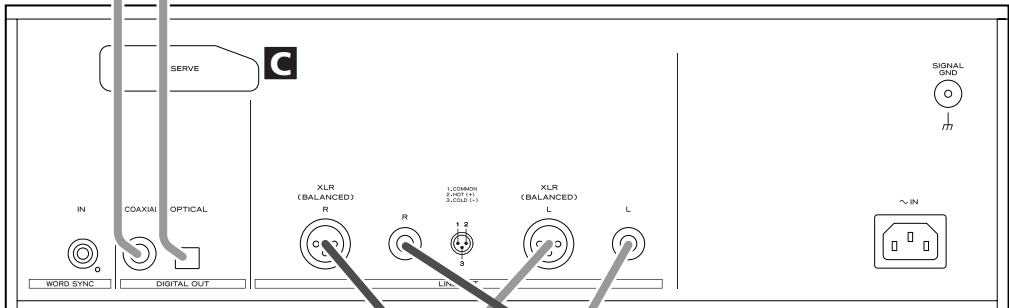
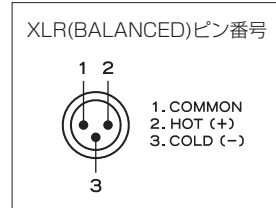
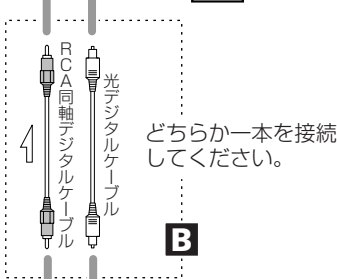
● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは使用しないでください。

● ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● レーベル面に印刷するタイプのディスク(プリンタブルディスク)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

アンプとの接続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アナログ音声出力端子

2チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR端子またはRCA端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。
XLR : バランス型XLRケーブル
RCA : RCAオーディオケーブル

本機のR端子とアンプのR端子、本機のL端子とアンプのL端子をそれぞれ接続してください。

- バージョンアップしてi.LINK(AUDIO)端子を増設すると、「アナログ出力」の設定を「マルチch」にした場合、アナログ音声出力端子からは5.1チャンネルのうちのフロントL/Rの音声だけを出力します。
アナログ音声出力端子を使う場合、通常は「マルチチャンネル再生モード」の設定を「2ch」にしてください。

B デジタル音声出力端子

CDのデジタル音声を出力します。
本機のデジタル出力端子(COAXIALまたはOPTICAL)を、アンプやデジタル録音機器(CDレコーダーなど)のデジタル入力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。
COAXIAL : RCA同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル(TOS)

- この端子からは、スーパーオーディオCDのデジタル音声は出力できません。

- 本機の光デジタル端子はシャッター式です。接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してシャッターが閉まらなくなることがありますのでご注意ください。

C RESERVE (i.LINK端子増設用スロット)

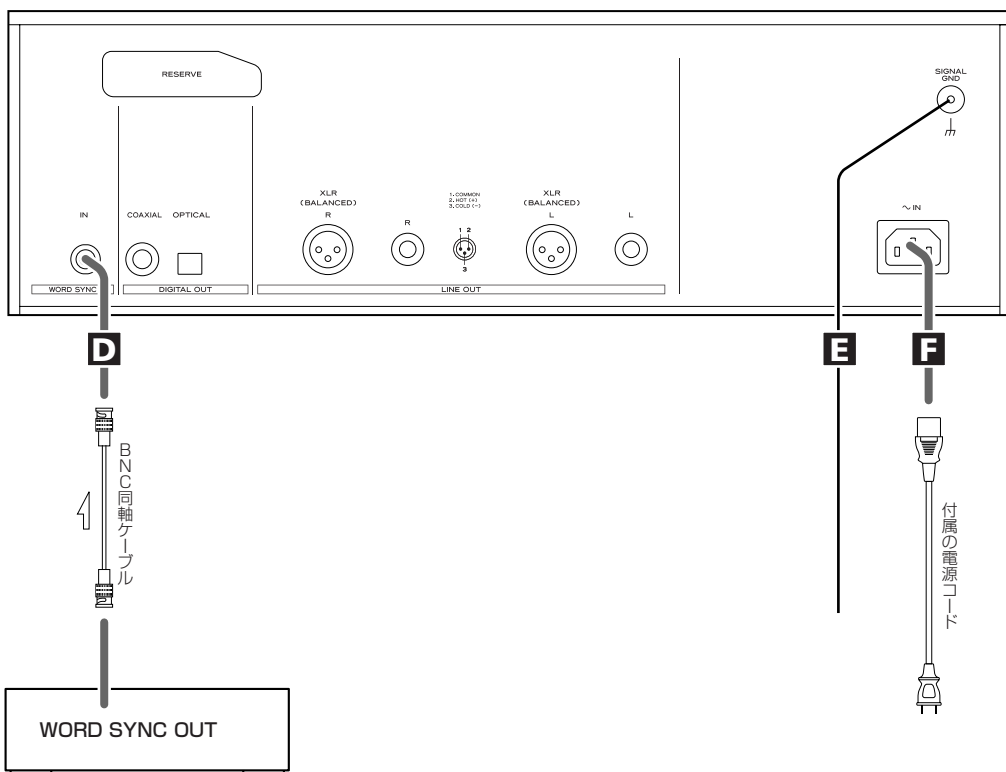
将来X-05をバージョンアップすると、ここにi.LINK(AUDIO)端子が増設されます。

i.LINK(AUDIO)端子 6ピン×1
i.LINK(AUDIO)端子 4ピン×1

i.LINK(AUDIO)端子があれば、CDのデジタル音声だけでなく、スーパーオーディオCDのサラウンドの音声もデジタル出力することができます。

市販のS400対応の、6ピンまたは4ピンのi.LINKケーブル(IEEE1394ケーブル)を使って、アンプ(AZ-1、バージョンアップ後のAI-10など)またはD/Aコンバーター(D-01など)のi.LINK(AUDIO)端子(IEEE1394端子)と接続してください。

マルチチャンネルの音声を出力する場合には、リモコンの2CH/MULTIボタンを押して「Multi ch」を選んでください。(22ページ)

その他の接続

RESERVE
SIGNAL GND
XLR (BALANCED)
R
R
1.COMMON 2.HOT (+) 3.COLD (−)
XLR (BALANCED)
L
L
～IN
IN
COAXIAL
OPTICAL
WORD SYNC
DIGITAL OUT
LINE OUT
D
E
F
BNC同軸ケーブル
付属の電源コード
WORD SYNC OUT
ワードクロックを出力する機器
(AI-10、G-0sなど)

D ワードシンク端子

同期信号を入力します。
市販のBNC同軸ケーブルを使って、アンプAI-10やマスタークロックジェネレーターのWORD SYNC OUT端子と接続してください。

E アース端子[GND]

市販のビニール電線でアンプとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

● 安全アースではありません。

F 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

● 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

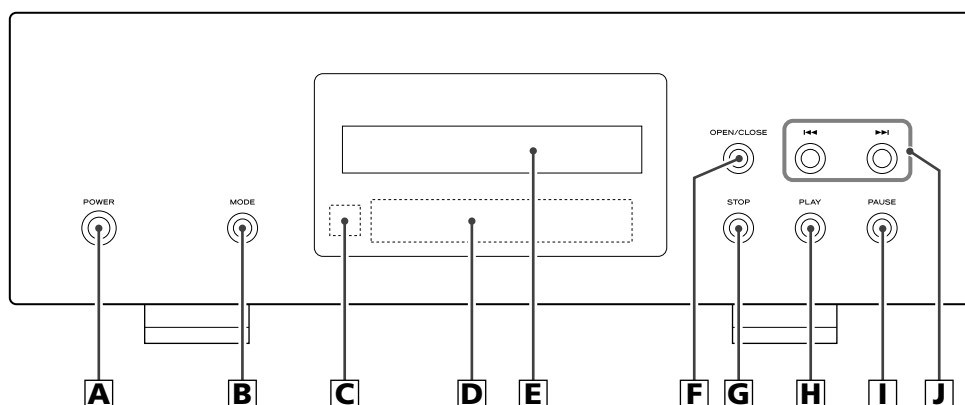
エソテリックでは、リファレンスとして**エソテリック MEXCEL ストレスフリー7N**ケーブルを使用しています。エソテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル	XLRデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル	BNCデジタルケーブル
RCAデジタルケーブル	スピーカーケーブル

電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の極性表示マーク(▲)が付いています。本機では、印の付いている方がアース側です。

一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。極性表示マークが付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。

各部の名称（本体）

A 電源ボタン [POWER]
電源のオンとオフを切り換えます。
電源の状態によって、ボタンの周囲が以下のように変わります。

点灯：オン
本体の電源ボタンがオンのときは、点灯します。
消灯：オフ
本体の電源ボタンがオフのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

B モード [MODE]
ワードシンク、デジタルフィルター、DSDの設定に使います。(20ページ)
ワードシンクをオンにするとボタンの周囲が点滅し、クロックを感知してロックすると点灯に変わります。

C リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(15ページ)

D ティスプレー

E ディスクトレー

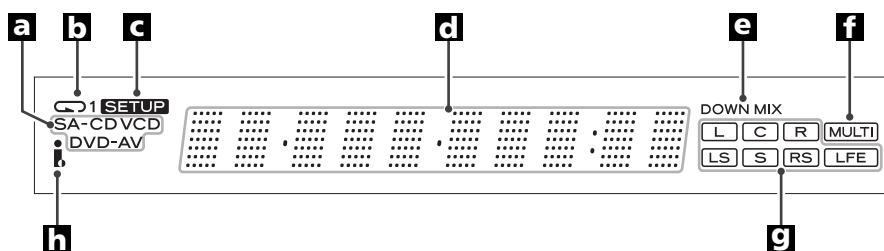
F オープン/クローズボタン [OPEN/CLOSE]
ディスクトレーを開閉します。

G 停止ボタン [STOP]
再生を停止します。(17ページ)
停止中はボタンの周囲が点灯します。

H 再生ボタン [PLAY]
ディスクを再生します。(17ページ)
再生中はボタンの周囲が点灯します。

I 一時停止ボタン [PAUSE]
再生を一時停止します。(17ページ)
一時停止中はボタンの周囲が点灯します。

J スキップボタン [|◀◀ / ▶▶|]
前または後ろにスキップします。再生中に1秒以上押し続けると再生スピードが変わります。
(18ページ)

各部の名称（ディスプレー）

a ディスクインジケーター
セットされているディスクの種類を表示します。
DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDをセットするとインジケーターが点灯しますが、再生はできません。

b リピートインジケーター
リピート再生中に点灯します。

c セットアップインジケーター
SETUPボタンを押して設定モードにすると点灯します。

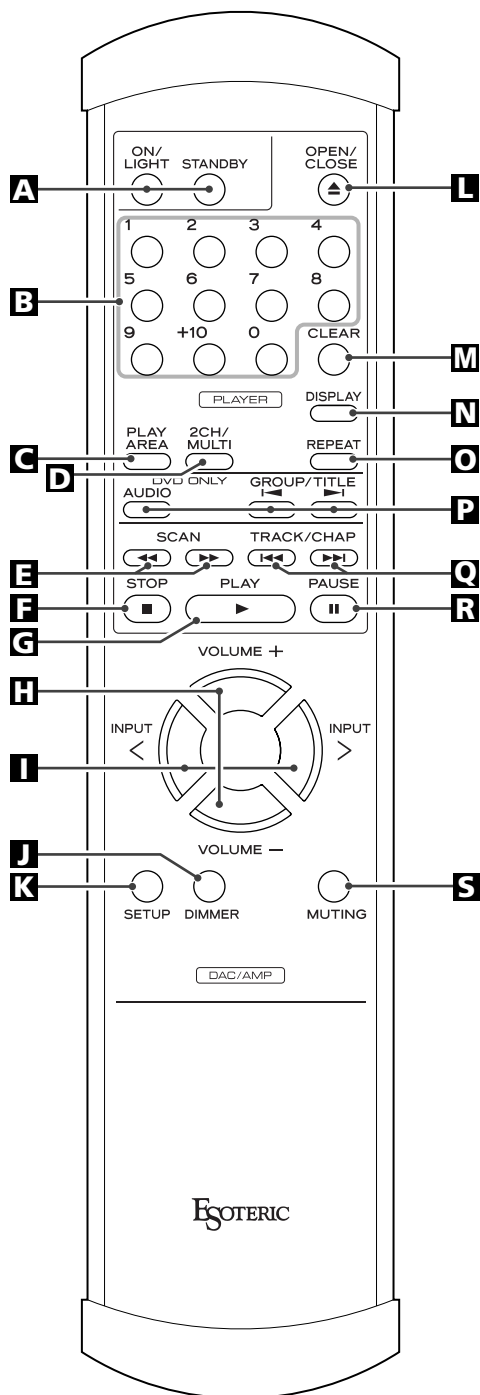
d メッセージ表示部
再生時間など各種メッセージが表示されます。

e ダウンミックスインジケーター
スーパーオーディオCDのサラウンドのアナログ音声をダウンミックスして出力しているときに点灯します。

f マルチチャンネルインジケーター
マルチチャンネル再生モードの設定が「Multi ch」のときに点灯します。(22ページ)
X-05をバージョンアップしてiLINK端子を取り付けると設定が可能になります。

g チャンネルインジケーター
2チャンネルの音声の再生中は、L/Rが点灯します。
マルチチャンネルの音声の再生中は、音声に含まれるチャンネルが点灯します。

h i.LINKインジケーター
本機をバージョンアップした場合、i.LINK出力が「60958」または「PCM」のときに点灯します。
(22ページ)

各部の名称（リモコン）

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

A オン/スタンバイボタン [ON/LIGHT、STANDBY]
本機では使用しません。

B 数字キー
選曲に使います。

C 再生エリアボタン [PLAY AREA]
停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えます。(17ページ)

D 2チャンネル/マルチチャンネルボタン [2CH/MULTI]
マルチチャンネル再生モードの2チャンネル/マルチチャンネルを切り換えます。(22ページ)
X-05をバージョンアップしてiLINK端子を取り付けると操作できるようになります。

E スキャンボタン (◀◀/▶▶) [SCAN]
早送り/早戻しに使用します。(18ページ)

F 停止ボタン(■) [STOP]
再生を停止します。(17ページ)

G 再生ボタン(▶) [PLAY]
ディスクを再生します。(16ページ)

H 音量ボタン [VOLUME]
本機では使用しません。エソテリックのD/Aコンバーター、アンプなどで使用することができます。

I 入力切換ボタン [INPUT]
本機では使用しません。エソテリックのD/Aコンバーター、アンプなどで使用することができます。

J ディマーボタン [DIMMER]
本体のディスプレーの明るさを調節できます。(19ページ)

K セットアップボタン [SETUP]
本機では使用しません。

L オープン/クローズボタン(⏏) [OPEN/CLOSE]
ディスクトレーを開閉します。(17ページ)

M クリアボタン [CLEAR]
数字キーを押し間違えたときなどに使います。

N ディスプレーボタン [DISPLAY]
再生中にこのボタンを押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。(20ページ)

O リピートボタン [REPEAT]
ディスクのリピート再生に使用します。(19ページ)

P DVD操作ボタン
本機では使用しません。

Q スキップボタン(⏮ / ⏭) [TRACK/CHAP]
前または後ろのトラックにスキップします。
(18ページ)

R 一時停止ボタン(⏸) [PAUSE]
再生を一時停止します。(17ページ)

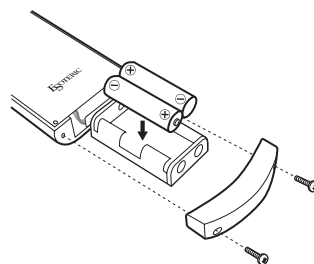
S ミュートボタン [MUTING]
本機では使用しません。エソテリックのD/Aコンバーター、アンプなどで使用することができます。

リモコンについて

リモコン使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

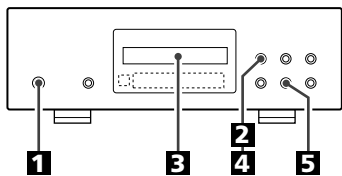
ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

⚠ 電池についての注意

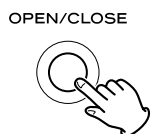
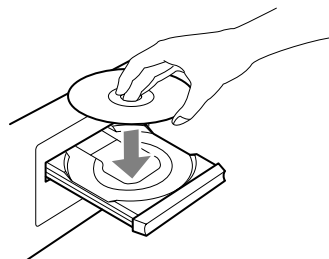
乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

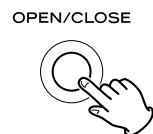
- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

再　生

1 電源をオンにする。

POWERボタンの周囲が点灯します。
POWERボタンの周囲が赤く点灯している場合は、リモコンのONボタンを押して電源をオンにしてください。（14ページ）

2 OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが手前に出ます。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。

- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

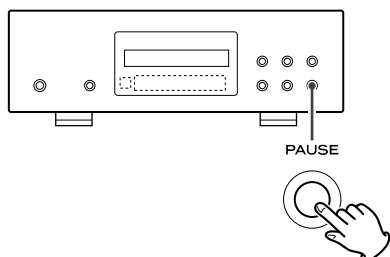
4 OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。

5 PLAYボタン(►)を押す。

再生が始まります。

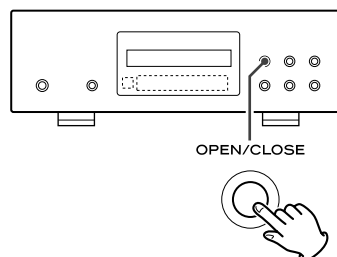
再生中は、PLAYボタンの周囲が点灯します。

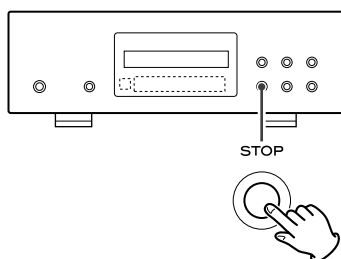
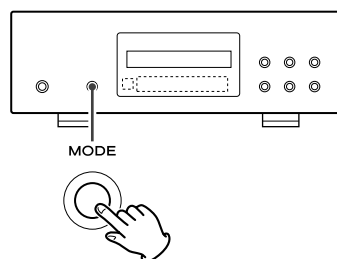
一時停止するには

再生中にPAUSEボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止し、本体のPAUSEボタンの周囲が点灯します。

PLAYボタン(►)またはPAUSEボタン(❚❚)を押すと、再び再生が始まります。

再生をやめるには

STOPボタン(■)を押すと再生が停止します。

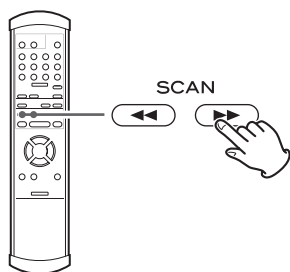
ディスクトレーを開閉するには

OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押すとトレーが開き、もう一度押すと閉まります。

● ディスクの再生中にOPEN/CLOSEボタンを押した場合は、トレーが開くのに数秒かかります。

再生エリアの切り換え

スーパーオーディオCDには、2チャンネルとマルチなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているものがあります。
停止中にMODEボタンを2秒以上押すと、再生エリアを切り換えることができます。

● リモコンで再生エリアの切り換えをするには、停止中にPLAY AREAボタンを押してください。

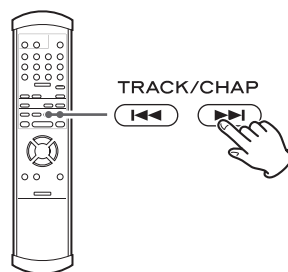
選　曲

早送り/早戻しするには(スキャン)

再生中にリモコンのスキャンボタン(◀◀ / ▶▶)を押すと早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら、PLAYボタン(▶)を押してください。

スキャンボタン(◀◀ / ▶▶)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が変わります。
ディスプレーの「<」または「>」の点滅速度も変わります。

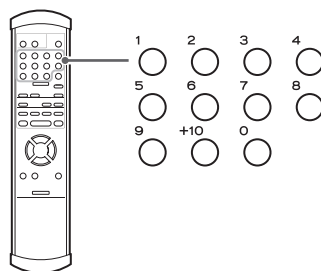
速度(低)→速度(中)→速度(高)→通常の再生

● 本体の場合は、再生中にスキップボタン(I◀◀ / ▶▶I)を1秒以上押すと早送り/早戻しの速度が変わります。

スキップするには

再生中に本体またはリモコンのスキップボタン(I◀◀ / ▶▶I)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

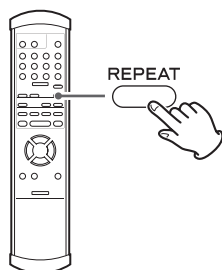
● I◀◀ ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、I◀◀ ボタンを続けて押してください。
ただし、曲の最初の1秒以内でI◀◀ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。

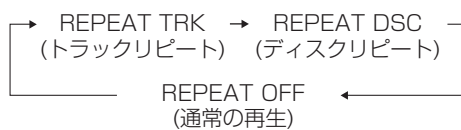
● 停止中または一時停止中にI◀◀ / ▶▶I ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

数字キーで選んで再生するには

再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。

曲番7：7

曲番23：+10 ⇨ +10 ⇨ 3

ESOTERIC

リピート再生

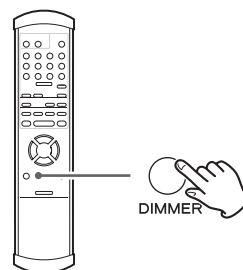
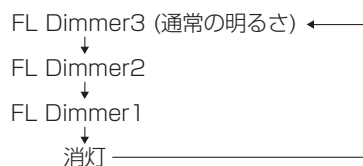
再生中にREPEATボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。

トラックリピート

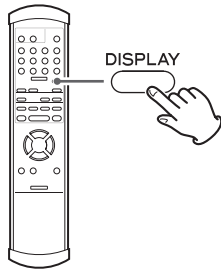
再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

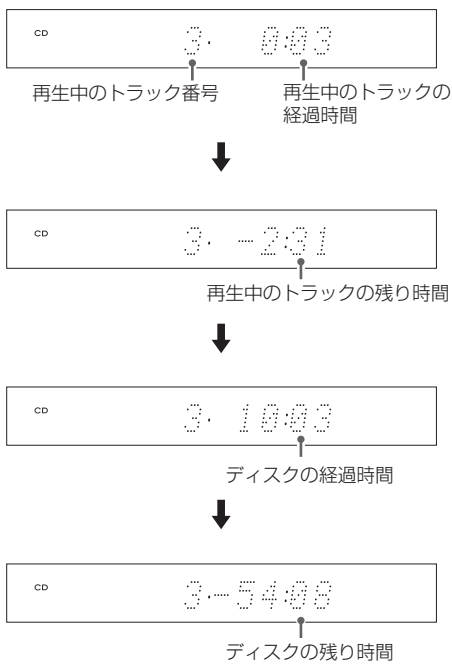
ディスクリピート

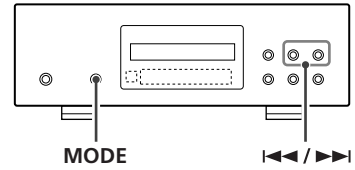
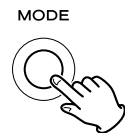
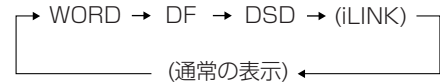
再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

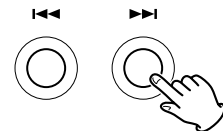
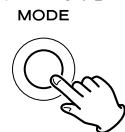
● 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

ディマー

本体のディスプレーとインジケーターの明るさを調節できます。

● 「消灯」を選ぶと、ディスプレーとインジケーターが消灯します。消灯した状態で電源をオフにすると消灯は解除され、次に電源を入れたときはFL Dimmer1の明るさになります。

● 消灯中に再生ボタンなどを押すと、約3秒間だけディスプレーが点灯します。

ディスプレー

再生中または一時停止中にDISPLAYボタンを押すと、ディスプレーの表示が次のように切り換わります。

● 停止中は、ディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。

設定について

1 MODEボタンをくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

MODEボタンを押す度に、ディスプレーの表示が変わります。

10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

2 ⏮ / ⏭ボタンを使って、設定を変更する。

3 通常の表示になるまでMODEボタンをくり返し押して、設定を終了する。

または、10秒以上放置するか、停止ボタンを1回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

● 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

変更できる項目と設定

WORD

ワードシンクのオンとオフを切り換えます。
エソテリックのAI-10やG-0sなど、外部同期信号(ワードクロック)を出力する機器と接続し、システムの同期(クロック)を一元化して再生するときや、本機を高精度な外部クロックで動作させるときにオン（Word ON）を選んでください。
ワードシンクをオンにするとMODEボタンの周囲が点滅を始め、クロックを感知してロックすると点灯に変わります。

● 本機は以下のクロックに対応しており、入力された信号によって自動的に切り換わります。
44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz
100kHz（ユニバーサルクロック）

● クロックの感知には数秒かかります。クロックを感知できない場合は「No Word!」を表示します。

● あらかじめWORD SYNC端子を接続しておいてください。

DF（デジタルフィルター）

FIR型デジタルフィルターの特性を切り換えます。

Wide

響きの豊かな、スロードロールオフ特性のフィルターです。

Narrow

切れの良い、シャープロールオフ特性のフィルターです。

DSD

Normal

カットオフ周波数が50kHzのDSDデジタルフィルター処理を行って出力します。

Direct

DSDデジタルフィルター処理を行わないで出力します。

● Directに設定すると、アナログの出力レベルがNormal時と比べて3dB下がります。

● 対応周波数レンジの狭い一部のアンプと接続すると、スーパーオーディオCD再生時に変調ノイズを発生することがあります。
その場合は、Normalを選んでください。

(i.LINK)

バージョンアップしたX-05のi.LINK(AUDIO)端子をアンプまたはD/Aコンバーターと接続する場合は、i.LINK(AUDIO)端子から出力する信号の種類を選ぶ必要があります。

i.LINK端子を使用する場合、「60958」または「PCM」を選んでください。

60958

スーパーオーディオCDの再生時はDSD信号が出力されます。
CDの再生時は、IEC60958フォーマットの信号が出力されます。

PCM

スーパーオーディオCDの再生時はDSD信号が出力されます。
CDの再生時は、リニアPCM信号フォーマットで出力されます。

● AVアンプによっては、このモードの信号を入力したときに「DVD-Audio」と表示することがありますが、異常ではありません。

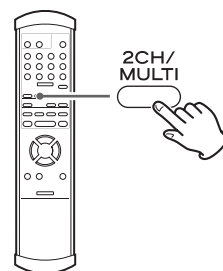
OFF

i.LINK端子から出力しません。i.LINK端子を使用しないときは、OFFにしてください。

● スーパーオーディオCDを再生するときは、「60958」と「PCM」のどちらに設定しても同じ信号を出力します。

● 音声の出力に問題がある場合は、接続したアンプやD/Aコンバーターの取扱説明書で、対応しているフォーマットをご確認ください。

● i.LINK端子で接続された受信側の機器がフローレートコントロールに対応している場合は、受信側の機器をフローレートコントロールモードで動作させることができます。

マルチチャンネル再生モード

リモコンの2CH/MULTIボタンを押すたびに、2CH/マルチCHの設定が切り換わります。

バージョンアップ後のX-05のi.LINK端子を使うときに切り換えることができます。
バージョンアップ前のX-05をお使いの場合、切り換えることはできません。

2ch

i.LINK端子から2チャンネルの音声が出力されます。通常はこちらを選択してください。
マルチチャンネルのスーパーオーディオCDを再生すると、音声はフロントL、Rにダウンミックスされます。

Multi ch

マルチチャンネルのスーパーオーディオCDを再生すると、i.LINK端子から5.1チャンネルの独立した音声が出力されます。
ディスプレーにMULTIインジケーターが点灯します。

i.LINK（IEEE1394）

将来X-05を有償バージョンアップすると、i.LINK(AUDIO)端子が増設されます。

i.LINKとは、国際標準規格であるIEEE1394の別称です。本機のi.LINK(AUDIO)端子にi.LINK(AUDIO)対応機器をi.LINKケーブルで接続すると、2chリニアPCM信号に加え、従来アナログでしか伝送できなかったスーパーオーディオCDのマルチチャンネル信号をデジタルのまま伝送することができます。複数のi.LINK対応機器を接続する場合、他の機器を経由して接続してもデータのやりとりが可能ですので、接続順序を意識する必要がありません。

著作権保護システムDTCP

i.LINKを使ってスーパーオーディオCDの音声を再生するためには、再生機器とD/Aコンバーターの双方が著作権保護システム DTCP (Digital Transmission Content Protection)に対応していなければなりません。
本機はDTCPに対応しています。

データ転送速度

i.LINK対応機器のデータ転送速度には、100Mbps(S100)、200Mbps(S200)、400Mbps(S400)の3種類があります。本機の最大データ転送速度は400Mbpsです。
接続には、市販のS400対応のi.LINKケーブル(6ピンまたは4ピン)をお使いください。

複数の機器を接続するときに、データ転送速度の遅い機器を間に挟むと、データ転送速度が遅くなります。できるだけデータ転送速度が同じ機器を上流に並べて接続してください。

注意

● i.LINKの伝送フォーマットには、本機の「i.LINK(AUDIO)」(A&Mプロトコル)の他に、BSデジタルなどの「MPEG-2 TS」、DVDレコーダーやデジタルビデオの「DV」などがあります。本機にi.LINK(AUDIO)非対応の機器(パソコンの周辺機器など)を接続すると、誤動作や故障の原因になりますので、絶対に接続しないでください。

● データ転送中は、つながっている機器のi.LINKケーブルを抜き差ししたり、電源をオン/オフしないでください。

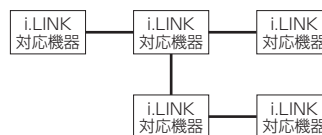
● i.LINK対応機器によっては、電源がオンになっていないとデータを中継できないものがあります。

● i.LINKに対応していても、機器によっては動作しないことがあります。

● 受信側の機器が本機の出力モードに対応していないことがあります。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

複数のi.LINK機器を接続するには

デイジーチェーン接続（数珠つなぎ）
数珠つなぎに一列に接続する場合は、本機を含めて17台まで接続できます。

ツリー接続
i.LINK端子を3個以上備えている機器がある場合、途中で分岐して接続することもできます。本機を含めて17台まで接続できます。

信号を出力した機器に、同じ信号が戻ってしまうと動作しません。接続が輪(ループ)にならないように注意してください。

この機器のi.LINKインターフェースは、以下の規格に基づいて設計されています。
1) IEEE Std 1394a-2000, Standard for a High Performance Serial Bus
2) Audio and Music Data Transmission Protocol 2.0

この規格のAM824 sequence adaptation layersの中の、IEC60958 bitstream、DVD-Audio、スーパーオーディオCDに対応しています。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

一　般

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

リモコンで操作できない。

➡ 本体の電源をオンにしてください。(16ページ)
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(15ページ)
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(15ページ)

テレビなどが誤動作する。

➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

再生できない。

➡ ディスクを正しくセットしてください。ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(7ページ)
➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。(25ページ)

ボタンを押しても反応しない。

➡ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。

➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

➡ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(8ページ)
➡ アンプなどの音量を調節してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ デジタル音声出力端子からは、スーパーオーディオCDのデジタル音声を出力できません。
➡ 一時停止中は音が出ません。再生ボタンを押して通常の再生に戻してください。

外部接続した機器でデジタル録音できない。

➡ コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。

CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じる。

➡ CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。

ワードシンク

「No Word!」が表示される。

➡ ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。
➡ ワードクロックが入力されてない時は、ワードシンクはオフにしてください。(21ページ)

「WRD UNLCK!」が表示される。

➡ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

i.LINK端子（バージョンアップ後）

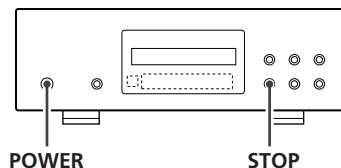
スピーカーから5.1チャンネルの音声が出力されない。

➡ サラウンドのスーパーオーディオCDを再生してください。スーパーオーディオCDに2チャンネルとサラウンドの両方の音声が収録されている場合は、再生エリアを切り換えてサラウンドの音声を選んでください。(17ページ)

➡「マルチチャンネル再生モード」を「Multi ch」にしてください。(22ページ)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

出荷時の状態に戻すには

設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. 電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、POWERボタンを押して電源をオフにしてから30秒以上待ってください。

2. 本体のSTOPボタン(■)を押しながらPOWERボタンを押す。

ディスプレーに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたらSTOPボタンから指を離してください。

仕　様

再生可能ディスク

スーパーオーディオCD、CD (CD-R/CD-RW対応)

アナログ音声出力

端子 . . . . XLR端子(2ch)×1
RCA端子(2ch)×1

最大出力レベル (1kHz、フルスケール)
XLR：2.2 Vrms±0.1V/10kΩ
RCA：2.2 Vrms±0.1V/10kΩ

周波数特性
5Hz〜50kHz (SA-CD、DSD設定：Normal)
5Hz〜80kHz (SA-CD、DSD設定：Direct)

S/N比 130dB
ダイナミックレンジ 107dB
歪率 0.001%

デジタル音声出力

光デジタル出力 . . 光デジタル端子×1、−15〜−21dBm
同軸デジタル出力 . . . . . . RCA端子×1、0.5 Vp-p/75Ω

有償バージョンアップすると、以下の端子が増設されます。
i.LINK(AUDIO)端子(4ピン)×1
i.LINK(AUDIO)端子(6ピン)×1

ワードシンク入力フォーマット

端子 . . . . BNC
入力可能周波数 (矩形波)
44.1kHz、88.2kHz、100kHz、176.4kHz
入力レベル TTLレベル相当/75Ω

一般

電源 . . . . 100V AC 50-60Hz
消費電力 15W
外形寸法 . . . . 442mm x 153mm x 353mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 17.2kg
許容動作温度 . . . . +5℃〜+35℃
許容動作湿度 . . . . 5%〜85%(結露のないこと)
許容保管温度 . . . . −20℃〜+55℃

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-1156)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から一年です。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

24～25ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料 ： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代 ： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 ： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：スーパーオーディオCDプレーヤー　X-05
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

エソテリック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.esoteric.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。